

自工会製品含有化学物質リストについて

自工会製品含有化学物質リスト(以下「本リスト」と称す。)は、自工会会員自動車メーカー及び部工会会員自動車部品メーカーが、自動車に用いられる化学物質による環境や人体への影響の有無を調査する必要性の観点から、自動車業界における環境負荷物質調査を効率的に進めることを目的に、自動車メーカー、自動車部品メーカー、及び化学メーカーの協力を得て、これらのメーカー等が管理の必要があると判断した物質(群)を、まとめたものである。

本リストにない物質を調査対象にする場合は、各自動車メーカーからの要請を受けた自工会が当該物質を本リストに追加した上で、サプライヤーに調査依頼することとする。但し、法令等の改訂等によって、その対応が各自動車メーカーとも必須となるような場合はこの限りではなくこの場合は当該リストへの掲載の有無にかかわらず、自動車メーカーが調査対象物質を追加することは可能とする。(但し、自工会または部工会は、リストへ当該化学物質の追加の手続きを、別途速やかに行うものとする。)

法規対応等の特別な場合を除き、各自動車メーカーは本リストより調査物質を指定して、サプライヤーに調査を依頼することになる。なお、本リストは、本リストに掲載された全ての物質(群)を全自動車メーカー及び全サプライヤーが管理することを要求するものではないし、個別の契約等の締結にあたって、各メーカー等を拘束することまで意図するものでもない。

本リストに規定される物質(群)は、販売時点で自動車又は部品中に存在することが見込まれる物質の中で、法規制物質、法規制予定物質、並びに自動車メーカーに供給される材料や部品に含まれており、その存在が人及び環境に大きなリスクをもたらす可能性が科学的に示されている物質(群)を対象としている。

本リストは、自動車業界における環境負荷物質調査リストの世界的な統一を目指す GADSL との整合性を考慮して作成されたものである。この基本方針の下で、GADSL に現在、掲載されている物質(群)または将来、掲載される物質(群)については、本リストへの掲載が検討されることとなる。他方、本リストに掲載される物質(群)についても、GADSL への掲載申請をする検討を行うこととする。

注) GADSL :Global Automotive Declarable Substance List

リスト改訂の手順

本リストへの物質(群)の追加、削除及び本リストの使用方法に関する提言については、自動車メーカー、自動車部品メーカー、及び化学メーカーからの提案、調査対象物質検討チームでの論議、並びに製品含有化学物質データシステム展開 WG での論議を経て決定されるものとする。

参照リスト

本リストで規定された物質(群)に該当する個々の物質については、GADSL のリファレンスリスト(ロングリスト)を参照することができる。

自工会製品含有化学物質リスト(JAMA リスト)の内容GADSL のホームページ <http://www.gadsl.org/>

JAMA リストの内容	改定日	Ver
JAMA リストは GADSL_Ver2.0 と同じです。	2006/04/01	1.00